

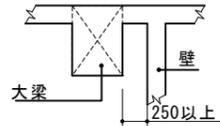
梁貫通孔位置

一般階 梁貫通孔は、柱面から1D (梁成) 以内に設けてはならない。

孔の中心間隔は、孔の平均値の3倍以上、かつ各メーカーの仕様に準拠のこと。
 $(\phi_1 + \phi_2) / 2 \times 3$ 以上

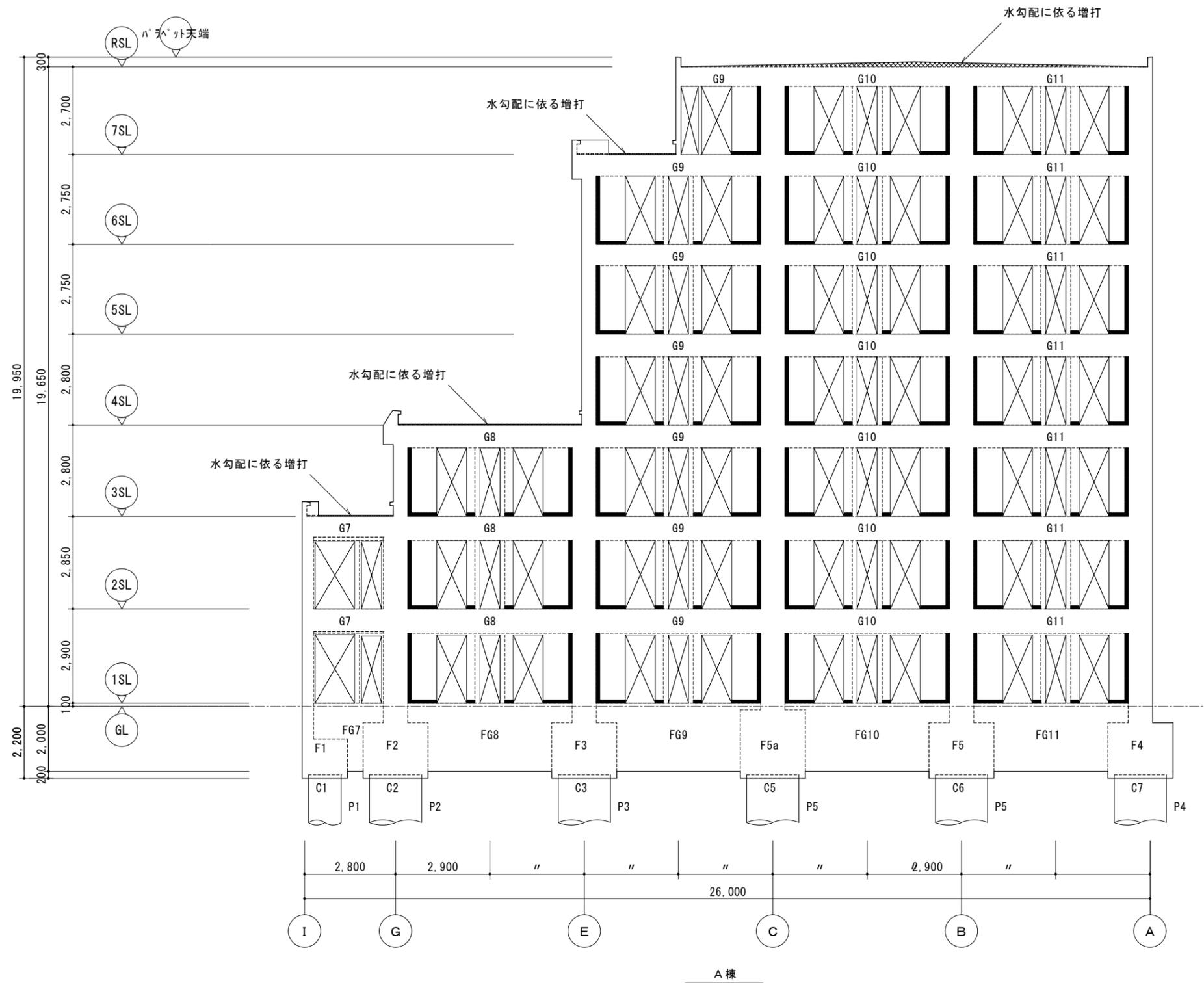
(既製品を仕様する際は計算を行い、監理者及び構造設計者に確認する事。)

- (註) 特記なき限り、下記に依る。
1. スラブは、S2 とする。
 2. **■** は、鉄筋コンクリート造壁 (耐力壁) を、
— は、鉄筋コンクリート造壁 (非耐力壁) を示す。
 3. 壁は、コンクリート壁W15とする。
 4. **▨** は、梁増打部分を示し、**▩** 印は、無筋床増打を示す。(但し、メッシュ入)
 5. **⊗** 部分は、床開口部を示す。
 6. **▽** は、構造スリットを示し、3方向完全スリットとする。
 7. () 内数字は、SLよりのレベルを示す。(特記なき限り、SL±0とする。)
 8. バルコニー床及び外廊下床は、水勾配、全て、増打コンクリートとする。
 9. スラブ補強筋は、5-D13@200 [L=3,000] とする。
 (上端筋の下に配筋する事。)
 10. 柱及び梁において、クリアランス250以上確保できる箇所は増打ちせずに箱抜きすること。



株式会社エヌ・エフ・シー
 一級建築士事務所 東京都知事第55040号
 一級建築士大臣登録第288119号 野口文寿
 構造設計一級建築士 第6756号

工事名称	図面名称	設計年月日	縮尺	図面番号
	2階床伏図	H.24.12.3	S=1/100	S-7



- (註)
- ・壁は、特記なき限りコンクリート壁W15とする。
 - ・ は、垂直、水平スリットを示す。
 - ・ は、増打部分を示す。

2 通り軸組図 S=1/100

	工事名称	図面名称	設計年月日	縮尺	図面番号
		軸組図(2)	H.24.12.3	S=1/100	S-13

